

事例 河川の水位管理

■ LPWA サービス導入の背景

□LPWA 導入の背景

近年、豪雨時の河川の氾濫や堤防の決壊への迅速な対応が求められており、河川やため池のモニタリングによる防災・減災の強化が課題となっている。

□LPWA 導入の目的

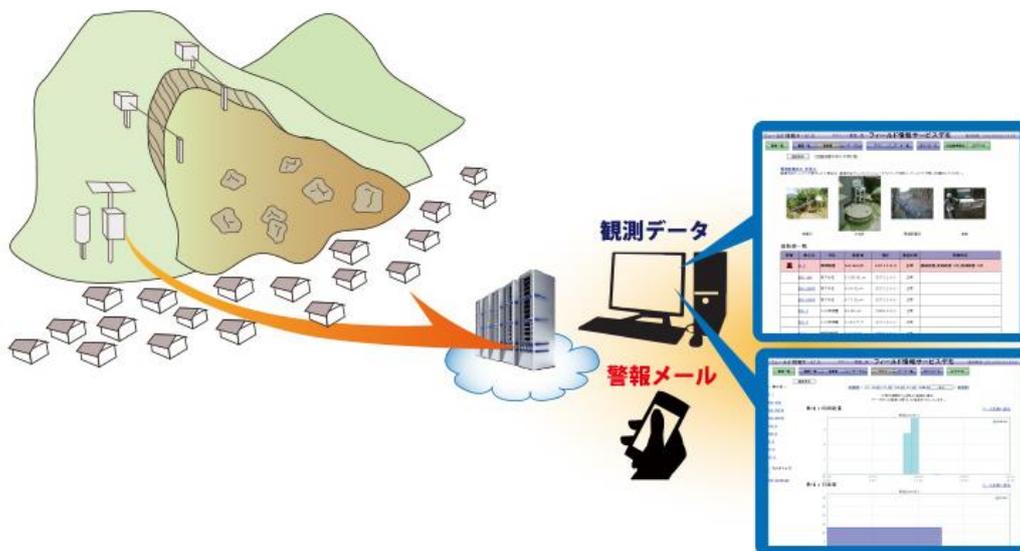
水位計を導入することで豪雨時の河川やため池の水位を把握し、河川の氾濫や堤防が決壊する前に住民の安全を迅速に確保する。

■ 実証実験の取組内容について

□取組概要

定常時、増水時の水位の変化を把握することで、河川の氾濫や堤防の決壊等を事前に予測し、住民の避難及び通行止めの判断材料とする。

水位情報を定期的に取り得ることで、河川の氾濫や堤防の決壊時の兆行を予測するためのデータを記録する。



□導入した機器



<水位・雨量計測器>

□ サービス利用イメージ



<水位確認画面>

□ 取得データの概要

項目：水位

取得タイミング：10 分間隔

■ 導入効果

- ・ 住民の被害減。
- ・ 家屋浸水時の被害減。

■ 利用者の声

リアルタイムに遠隔地の水位データが分かることによって現地へ足を運ぶ回数が減り、的確なタイミングで住民の安全のための対応を行うことができるようになった。

■ サービス提供事業者

(株)オサシ・テクノス